



【5～12組】法性寺ねぎの植え付け

昨日、おかざき農遊会の方々を講師にお招きし、5～12組の子供たちが法性寺ねぎの植え付けを行いました。プランターに土を入れてきれいにならし、植えるための穴を開けたところに、一人一人が大切にねぎの苗を植えていきました。

法性寺ねぎは、愛知の伝統野菜に指定されています。愛知の伝統野菜は、現在37種類ありますが、岡崎市で指定されているのはこの法性寺ねぎだけで、大変貴重な野菜です。とても甘みが強という特長のある法性寺ねぎを、子供たちが水やり等を丁寧にいき、大きく育てていくのを見守りたいと思います。



▲法性寺ねぎの苗を大切に植える子供たち



脳科学に基づいた効果的な勉強法

去る5月、テレビにもよくご出演なさっている東京大学薬学部教授の池谷裕二先生の講演を聞かせていただく機会がありました。その時の講話の内容が大変興味深かったので、夏休みに、池谷先生の著書「勉強脳の作り方」を読んでさらに追究してみました。著書には、脳科学に基づいた効果的な勉強法がいくつも書かれていたので、今月の月曜集会で、男川っ子にも話をしました。いつものように勉強をすると効果的なのかについて、脳の特性を解説しながら子供たちに紹介した六つのポイントを掲載いたします。よろしければ、お子さんの家庭学習の参考になさってください。

- ① 同じ学習内容を、日を変えて3回勉強すると記憶に留まりやすい。
- ② 覚える（入力）だけでなく、テスト（出力）をすることで記憶が定着する。
- ③ 笑顔で勉強する方が、脳は活性化する。自分で笑顔を作るようにする。
- ④ 見て覚えるだけではだめ。手を動かして書いて覚えるのがよい。
- ⑤ 声や音で覚えると記憶に残りやすい。耳も使って勉強するのが効果的。
- ⑥ 毎日決まった時間に勉強することで、脳が勉強に馴れ、習慣化する。

☆☆☆☆☆☆ 男川っ子の輝き <9月21日(木) 体育の研究授業より> ☆☆☆☆☆☆



▲体幹を鍛える運動（5組）



▲お気に入りの技に挑戦（2-2）



▲タグラグビーでの連携プレー（5-1）